

科目名	書道史	
担当者	伊之口 芳至 / INOKUCHI, Yoshiyuki	
科目情報	人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	書の歴史を時代別に区分し、古典を解説しながらその書道史の流れを捉える。
	到達目標	三千余年にわたる書の伝統と歴史は、書写文字の簡略化と美化の連続であったといえる。日本に伝わった漢字を受容し和様化と仮名を完成した日本人の感性など書の魅力は尽きない。中国と日本の書の歴史を豊富な古典の資料を解説しながら、時代区分を越えて展開されてきた大きな書道の流れを学習者が把握できるように授業を進めたい。
授業計画	(1) 中国書道史 文字の起源と甲骨文字 (2) 中国書道史 金文と周代の書法 (3) 中国書道史 秦代の文字の統一と隷書への変化へ (4) 中国書道史 漢代の隷書と用筆美 (5) 中国書道史 草書・行書・楷書の萌芽 (6) 中国書道史 六朝の書と書聖 (7) 中国書道史 隋・唐の楷書 (8) 中国書道史 個性と開放の宗代 (9) 中国書道史 元・明・清の書法とその流れ (10) 中国書道史 帖学と碑学 (11) 日本書道史 漢字の伝来 (12) 日本書道史 奈良時代の書法と写経 (13) 日本書道史 平安時代と仮名の完成 (14) 日本書道史 その後の書道史と今後の書道 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・授業の初めに前回の授業内容の確認を行う。 ・前半に小レポートを課す。
使用教材・参考文献	【教】 鈴木翠軒・伊東参州共著『新設 和漢書道史』日本習字普及協会1996年 【参】 藤原鶴来『和漢書道史』二玄社1927年	
成績評価方法と基準	出席状況、レポート、受講態度など (レポート70%、出席・受講態度30%)	
備考	適宜補充プリントを配布する。	